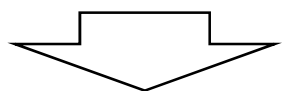


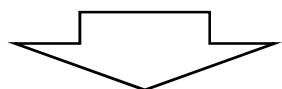
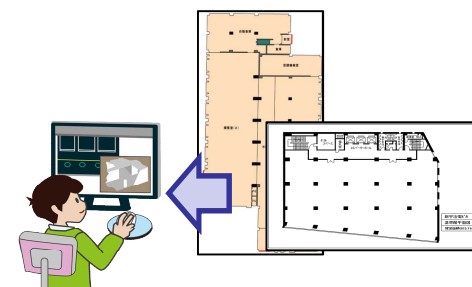
パブリックタグの設置及び 屋内外シームレス測位のための アンカーポイントに関する検討

平成28年7月21日

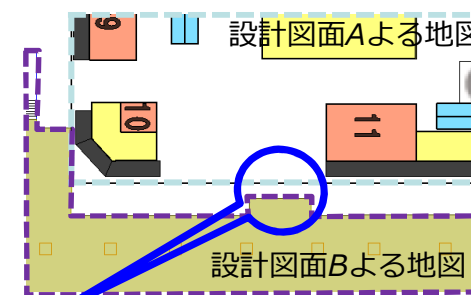
パブリックタグ設置場所の位置情報（地理座標）の算出は、電子化された屋内地図を用いた計測が主体（例：H27年度東京駅P）



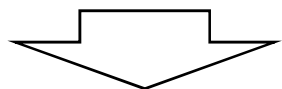
- 屋内地図は各施設管理者から設計図面を収集し作成
- 設計図面は位置情報がなく、施設ごとに精度が異なる



- 設計図面ごとに位置情報を与える測量を実施することはコスト的に困難
- 設計図面ごとに精度が異なるため、作成した屋内地図の施設間の接合部でズレが発生



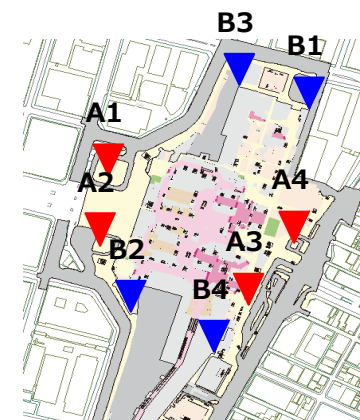
接しているべき部分にズレが発生



パブリックタグ設置のためシームレスな屋内外地図を整備するためには、出入口や建物の角（**アンカーポイント**）に位置情報を付与する必要がある

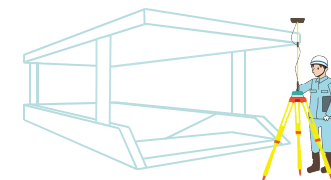
■ アンカーポイントの設置に関する検討

- ✓ どこに、どの程度設置するか
→総プロ課題「社会基盤としての3次元地図の整備・更新技術の開発」と連携
- ✓ どの程度の精度が必要か
→総プロ課題「屋外3次元空間における高精度衛星測位の適用範囲拡大のための技術開発」と連携
- ✓ 屋外と屋内に分けて検討



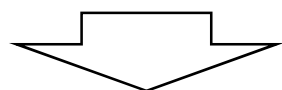
■ パブリックタグの設置に関する検討

- ✓ 屋内地図を使ったパブリックタグ設置の実証
→資料3-1 APIの開発と連携予定
- ✓ アンカーポイントを基点とした実測によるパブリックタグ設置



■ パブリックタグの設置位置の品質情報に関する検討（資料2-2関連）

- ✓ 相対精度の表記方法
- ✓ 位置精度の信頼度の区分や確認方法
- ✓ 運用の信頼度の区分や確認方法



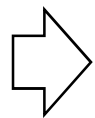
■ 検討結果は、次回以降のWGで報告、Ver.1.0に反映

■ パブリックタグ設置・登録の促進

- ✓ 位置情報を持った屋内地図が整備されることにより、パブリックタグ設置位置の計測が容易になり、設置・登録が促進

■ 屋内外地図とパブリックタグの位置情報が整合

- ✓ 屋外、屋内間で整合した地図をもとにパブリックタグの位置を計測
- ✓ アンカーポイントから直接、パブリックタグの位置を計測



屋内外シームレス測位を実現